

令和元年度 学校評価

向陵高等学校

学校教育目標	1 自発的学習態度を育成する 2 健全な心身の発達を目指す 3 知性を高め敬愛の精神を高める 4 創造力を養い個性の伸長に努める 5 誠意をもって責任を果たす態度を養う
	校長の教育方針 1 基本的な生活習慣を身につけた生徒を育てる 2 自己の学力の向上に努める生徒を育てる 3 教科の勉強以外に打ち込めるものを見つけ、取り組む生徒を育てる 4 「思いやりの心」と「感謝の気持ち」を持つ生徒を育てる 5 本校独自の「チャレンジ講座」や「人間学」を通して未知なるものへの興味を広げ、豊かな感性を育む生徒を育てる
現状と課題	1 素直で人懐こいが、集団生活に悩む生徒がいる。 2 遅刻を繰り返す生徒がやや多い。 3 細部まで清掃が行き届いていない。協力し合う態度が足りない。 4 身だしなみや清潔感に気を配る意識が不十分である。
重点目標	1 基本的な生活習慣を身につける 2 掃除の徹底 3 元気な挨拶 4 コミュニケーション能力の向上

自己評価実施日	令和2年2月14日
学校関係者評価実施日	令和2年2月14日

学校関係者評価委員会の構成	PTA役員
---------------	-------

達成度	A	ほぼ達成	80%以上
	B	概ね達成	60%以上
	C	やや不十分	40%以上
	D	不十分	40%未満

自己評価				学校関係者評価		総括	
番号	評価項目	具体的方策	目標の達成状況	達成度	学校関係者からの意見・要望・評価等	次年度への課題と改善策	
1	遅刻をしない	時間を守ることの大切さを訴え、個々の状況に応じて根気強く指導する。教員間、家庭とで連絡を取り合い、状況報告・相談を行い、生活リズムの改善を行う。安心して学校に来られるように、全教員で声掛けをする。授業前は、必要に応じて見回りをする。	登校時に目立って遅刻をする生徒がほとんどおらず、昨年度よりも大幅に改善された。授業開始前に道具等の準備が不十分な生徒がみられた。また体育後の着替えに手間取り、次の授業開始が遅れるケースがあった。	A	「ほとんどの生徒は時間を守って登校できていると思う」「先生方が生徒達の生活リズムも考え指導しているのが良いと思う」「指導のおかげで遅刻者が減った」「少数の生徒の遅刻者をなくすことが課題」「登校時間ギリギリなのにゆっくり歩く生徒をたまに見かける」	登校時の遅刻者減少の良い傾向を維持するよう、引き続き時間の大切さを説いていくと共に、生活リズムを意識して生活するよう、家庭とも連絡を取り合いながら指導していく。授業前にはしっかり準備をして待つ体制をとる。	
	さわやかな身だしなみ	服装指導を、朝、帰りのHR、授業前に行う。生徒会とも連携を図り、生徒同士が服装についても注意し合えるようにする。指摘されなくても自分自身で見た目や清潔感にまで気が配れるように意識させる。保護者とも連携し、教員・保護者が共通理解、共通指導できるよう目指す。	服装が乱れたり制服を着崩したりする生徒がいなかった。Yシャツが出ているのに気づかなかったりボタンをかけ忘れていた生徒、靴のかかとを踏んでいる生徒、袖口や襟が汚れたまま着用している生徒がたまに見られた。清潔感に気を配る意識を高めたい。	A	「学校行事に参加した際に生徒の服装をみると、男女問わずきちんとしている」「きちんと制服を着こなしているように見受けられた」「着崩す生徒はいないが、髪型に爽やかさが無い生徒が気になった」「年頃なので自分で気づく力を身に付けてほしい」	教員・生徒会・保護者が連携して、服装がきちんとしている良い状況を今後も続けていけるよう注意喚起していく。自分自身で身だしなみや清潔感に気をつけていく力をつける。	
	安心・安全な学校生活	全教員・スクールカウンセラーが生徒に関する情報を共有し、何かあれば会議等を開き早期に対処する。普段から生徒に声かけや面談を行い、様子を観察する。家庭との連絡も密にし連携していく。定期的にいじめアンケートをとる。観察シートを記入する。教員は生徒が相談しやすい環境づくりをする。必要に応じてチーム・ティーチング等を行う。	生徒の授業や生活の様子を観察し、面談を実施するなどして、現状について情報共有しながら指導した。トラブルがあれば早急な対応を心がけ教室と連絡をとり必要に応じてSCとも連携した。個々に応じて安心を与えられるよう努力した。必要に応じて巡回したり担当以外の教員が授業に入った。	A	「先生方が声かけをしたり相談しやすい環境をつくってくれて、生徒と向き合う姿勢が感じられる」「先生方への相談・質問等を行いアドバイスももらっている」「言葉のとらえ方感じ方がそれぞれ違うのでもう少し寄り添ってほしいのかと思う」「家ではなるべく本人の話聞くようにしている」	多様性を認め互いに尊重し思いやりの心を持って行動できる生徒を引き続き育てていく。言葉遣いや行動に気をつけさせる。生徒の様子を観察し声かけ面談を行う。保護者とも連絡を取り合っていく。必要に応じてTTも行う。誰もが安心して学校生活を送れる学校作りを目指す。	
2	きれいな校舎	掃除の時間は必ず教員がついて指導し、細部にまでこだわる目を養い、使用する人の気持ちを考え、丁寧に掃除することを習慣化していく。自分の役割以外のことも手伝う気持ちを養う。クリーンアップ作戦で地域への奉仕心をより一層深めていく。	毎日自分の清掃分担を比較的しっかりと掃除できていた。手伝う姿勢や気づいたらその都度手直しする態度も以前より見られるようになった。ただ細部にまでこだわり掃除する生徒はまだ少ない。使い方に気をつけ汚さない意識も必要である。	A	「PTA活動で学校へ行った際、教室やトイレ等で汚れが気になったことはなくきちんと掃除されていると思う」「校舎の古さは感じますがいつもきれいでゴミもありません」「たまに校外のクリーンアップ作戦を見かけるのですが良いことだと思います」	清掃が終わったら担当者同士で確認しあつたり不備があればすぐ手直りする。細部まで清掃が行き届くようできるだけ教員がつき一緒に掃除をしてやり方を教える。施設設備の使い方も気をつける。授業前の黒板もきれいにする。	
3	元気な挨拶	一人一人が笑顔で自信を持って元気な挨拶ができるように声掛けをしたり共に活動する。HRや授業、集会、職員室の出入り等、様々な場面で姿勢・態度も含めて挨拶を徹底していく。生活向上委員会・PTAの挨拶運動を有効活用する。行事を通して生徒同士はもちろん、外部の方々とも積極的に交流する。	登下校時や廊下ですれ違う時、職員室の出入り時、授業の前後では概ねよく挨拶ができていた。声量とおじぎの姿勢がよくなればなお良い。ただ挨拶や返事など声を出すのが苦手な生徒、お客様に対しきちんと挨拶できないもいる。	B	「訪問のたびに気持ちの良い挨拶をしてくれる生徒が多く、続けてほしいと思う」「挨拶は基本なので学校内外で挨拶できる子供でいてほしい」「挨拶はするがもう少し大きな声で言えたらよいと思う」「自分に自信が持てるのと明るく人に対して行動できるので、声かけ等で自信をつけさせてあげるとよいと思う」	心を込めた挨拶・礼儀を意識してできるよう指導していく。また場面に応じた仕方も教える。進路指導とも合わせながら指導する。率先してできない生徒にはこちらから挨拶して、安心してできる雰囲気をつくり促していく。自信を持ち笑顔で溼漑とした挨拶のできる学校を作る。	